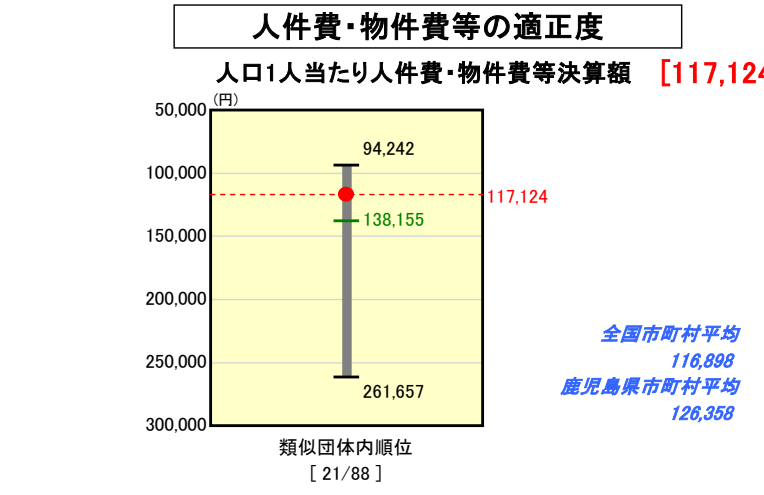
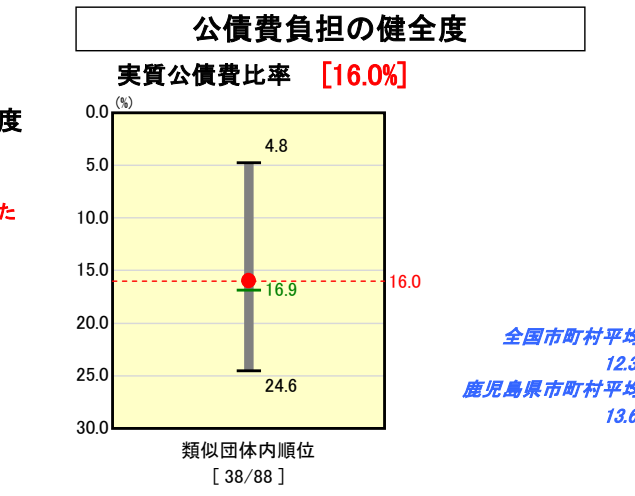
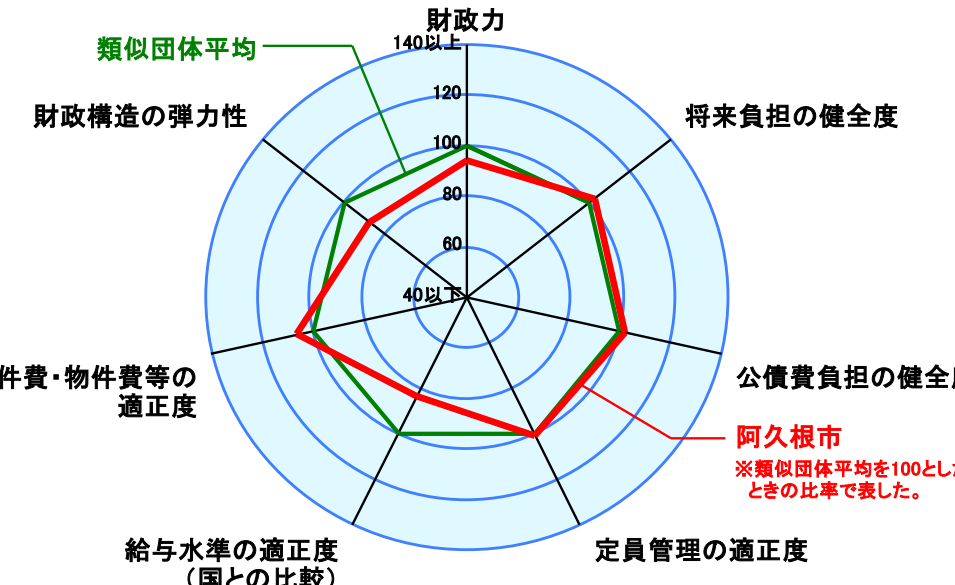
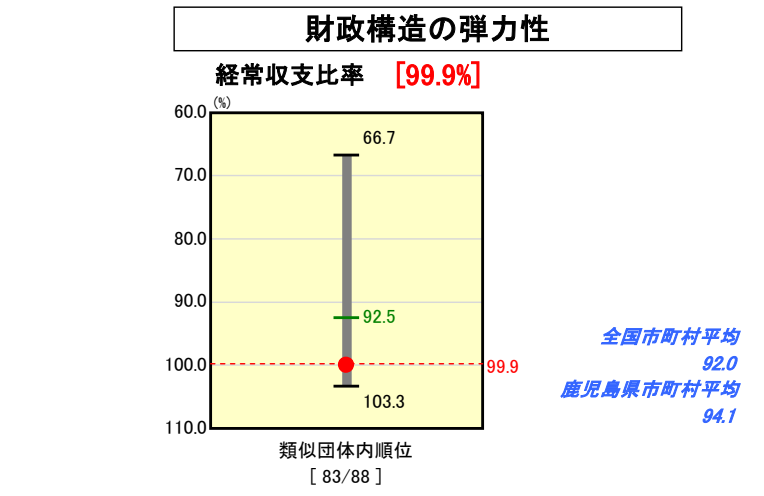
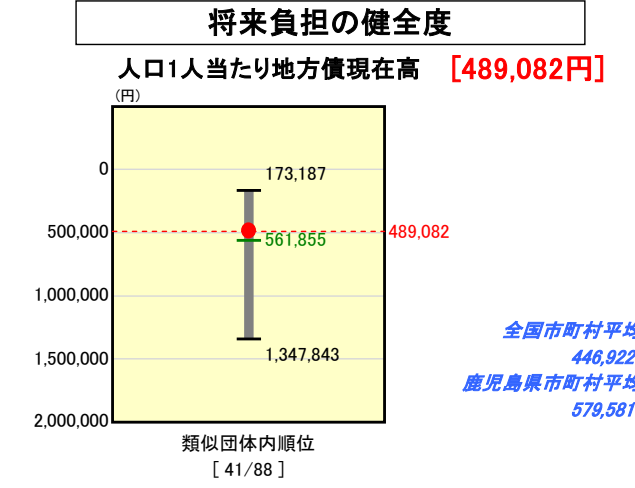
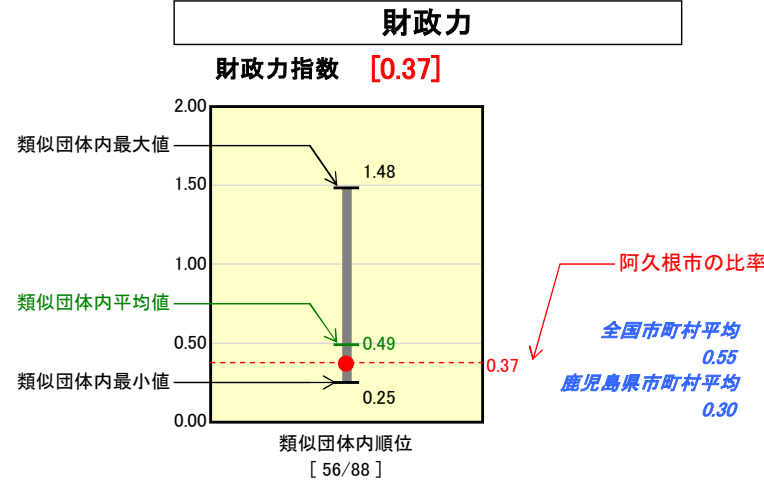


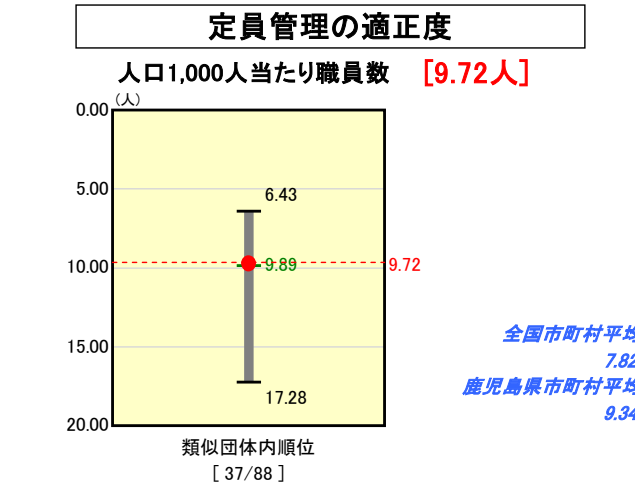
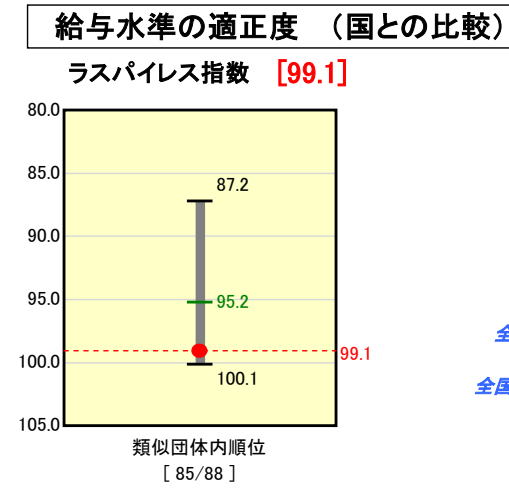
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 阿久根市

人口	24,595 人(H20.3.31現在)
面積	134.30 km ²
歳入総額	10,668,028 千円
歳出総額	10,335,835 千円
実質収支	327,391 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- ◆財政力指数: 労働力人口の減少や高齢化に加え、市の基幹産業が少ないことなどから税収に乏しく財政基盤が弱い。ため、類似団体平均を下回っている。組織の見直しをはじめとする機構改革等をさらに推し進め、行政の効率化を図る。
- ◆経常収支比率: 扶助費や人件費などの経常的な歳出経費に対し、市税や普通交付税などの一般財源収入が少ないことが要因となって、類似団体平均を大きく下回っている。「集中改革プラン」をはじめとする行財政改革を着実に実行し、職員数の減や給与等の適正化による人件費の削減等を通じて義務的経費の削減に努める。
- ◆人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均を上回っており、適正度としては良い結果となっているが、今後も経常的な経費については節減に努め、指定管理者制度の導入などにより、コストの低減を図る。
- ◆ラスパイレス指数: 指数の低下に努めているが、類似団体の中でも高い水準にあるため、給与カット等の継続を視野に入れながら、より一層の給与の適正化に努めなければならないと考える。
- ◆人口1,000人当たり職員数: 類似団体の平均とほぼ同程度となっているが、今後も新規採用の抑制を継続するなど、さらなる減員に努める。
- ◆実質公債費比率: 近年、地方債の新規発行を抑制していることで、類似団体平均を若干ながら上回っているが、水準としては依然高いといえる。今後、一部事務組合や地方公営企業が起こす地方債に対する負担金や繰出金が増える見込みで、実質公債費比率の上昇につながるから、これらの動向に注視し、引き続き適切な地方債の発行に努め、財政の健全化を図る。
- ◆人口1人当たり地方債現在高: 地方債の新規発行を抑制している影響もあり、ここ数年間で地方債現在高が数億円単位で減少していることから、類似団体平均を上回っている。今後とも減少していく見込みではあるが、行政評価制度の活用を充実するなど、住民生活に密着した事業の選定を重視し、長期的で安定した財政運営を図る。